

[新制度適用開始] Automotive SPICE アセッサー制度

今月 13 日から 15 日にドイツ ベルリン近郊のナウエンにて第 8 回 VDA Automotive SYS Conference が開催されました。

アセッサー制度の変更に関しては以前のメールマガジンにてご案内しておりましたが、本カンファレンスに合わせて、制度変更に伴うアセッサー資格の更新方法が最終決定され発表されましたので改めてご案内いたします。

1. 新制度の適用開始タイミング

2018 年 7 月 1 日以降に Automotive SPICE のアセッサー資格を申請／更新する際に新しいルールが適用されます。

新制度への移行期間は 1 年間となり、すべての Automotive SPICE アセッサー資格保有者は 2019 年 6 月 30 日までに更新手続きが必要となります。

なお、新制度の基準を満たせていない場合は、旧制度の基準に基づいて移行期間中のみ有効な限定資格が与えられます。

2. EE (Experienced Evidence) の変更

アセッサー資格の新規登録、資格更新の際に提示の必要な EE の種類が以下のように再定義されました。

旧 EE-Type1

EE-AM : アセスメント実施 (チームメンバーとして)

EE-AL : アセスメント実施 (リードアセッサーとして)

旧 EE-Type2

EE-IP : 組織内イベントへの参加 (事前申請が必要)

旧 EE-Type3

EE-EP : intacs 公認イベントへの参加 (国内では NSPICE.NET が対象)

旧 EE-Type4

EE-AC : コミュニティへの積極的貢献 (公認イベントでの講演等)

EE-AT : 認定トレーニング実施 (インストラクターとして)

コンピテントアセッサー以上の資格の更新には EE-AM だけではなく EE-AL の獲得が求められるようになります。

これは、アセッサー資格を維持するためには、リードアセッサーとしてアセスメントを実施し続けている必要があるということを意味しています。

3. VDA Automotive SPICE Guidelines トレーニングの新設

コンピテントアセッサー以上の資格の更新には、上記 EE に加えて、VDA Automotive SPICE Guidelines トレーニングの受講が必要となります。

本トレーニングはコンピテントアセッサー資格取得前の方にも受講いただくことが可能です。

トレーニングの詳細は、当社 Web サイトをご参照ください。

4. 相互認証制度の廃止

intacs 認定アセッサー以外の資格保有者（例：CMMI リードアブレイザー）との相互認証制度が廃止されました。アセッサー資格を得るためには、VDA QMC のアセッサー制度に従った資格取得が必要となり、intacs 認定コンピテントアセッサー <Automotive SPICE> への相互認証制度は、intacs 認定コンピテントアセッサー <ISO15504 等の別の PAM> のみが可能となります。

新制度に関してご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、上記カンファレンスでは、すでに発行されている機構開発向けの PAM（Mechanical SPICE）に加えて、電気電子ハードウェア開発向けの PAM の策定が進んでいることが発表されました。本件の続報につきましては、今後のメールマガジンにてご案内したいと思います。

2018/6/22 田淵 一成